

RXC07-31 ドリルポンプ 取扱説明書

この度は、RXC07-31 ドリルポンプ をお買い上げいただきありがとうございます。必ずこの「取扱説明書」の内容をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



警告

下記内容をお守りください。重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 本製品は、水、溶剤、低粘度のオイル等を移送する工具です。ドリルに取り付けて使用するポンプです。目的以外の使用を絶対にしないでください。
- ・ 体が濡れた状態で、電動工具を使用しないでください。また、本製品が液漏れをしている場合は使用しないでください。感電の恐れがあります。
- ・ ポンプ内の潤滑油が混入する可能性があるため、飲み水、魚のいる水槽等の使用はしないでください。
- ・ 可燃性の液体（ガソリン・灯油・アルコール・薬品等）には、使用しないでください。
- ・ 酸性、塩基性溶液には使用しないでください。
- ・ 高温のお湯、液体には使用しないでください。やけどや本体損傷の恐れがあります。
- ・ 液体が周囲に飛散する可能性があります。目や皮膚に付着すると失明や炎症を起こす可能性があります。使用時は保護メガネ・保護マスク・保護手袋・作業着を着用してください。
- ・ 本製品を改造しないでください。
- ・ 子供の手の届く場所に保管しないでください。

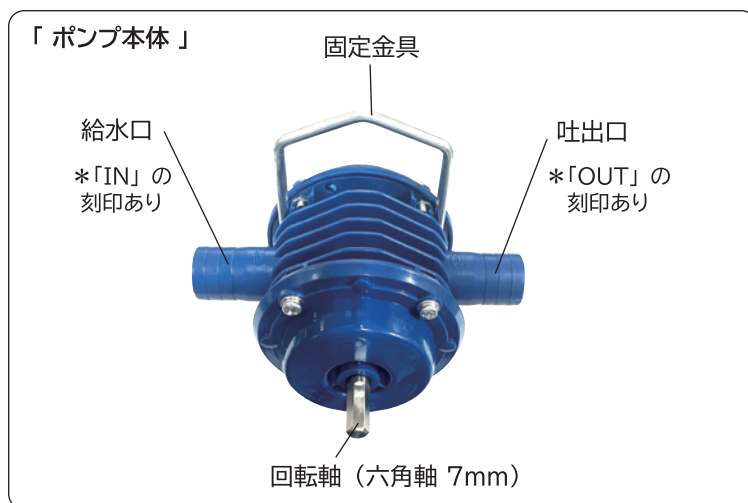


注意

下記内容をお守りください。負傷や物的損害の可能性あります。

- ・ インパクトドライバー等の打撃工具では使用しないでください。ポンプが破損する恐れがあります。
- ・ ポンプ本体に、回転方向の矢印表示があります。逆回転では使用しないでください。
- ・ ポンプを空回ししないでください。
- ・ 粘度の高い液体には使用しないでください。(VG32 以下)
- ・ 使用する液体に適応したホースを使用してください。
- ・ 汚水等を移送する場合は、給水側ホース先端にフィルターを取り付けてください。ただし、ホースの外径によっては取り付けができない場合があります。

各部名称



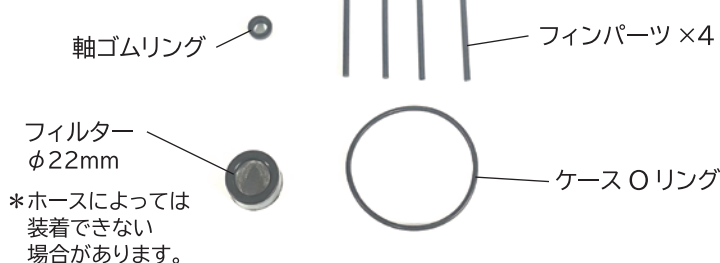
仕様

| | |
|----------|--|
| 吐出能力 | 約48L/min *1 |
| ポンプ本体重量 | 約340g |
| ポンプ本体寸法 | 125×108×79mm |
| ドリル接続軸 | 六角軸 二面幅7mm |
| 使用ホース内径 | 19～20mm |
| ホース推奨長さ | 給水側: 3m以内 吐出側: 15m以内 |
| 吸い上げ可能高さ | 2m以下 |
| 推奨ドリル回転数 | 2000～3000rpm |
| セット内容 *2 | ポンプ本体×1、固定金具×1、 軸ゴムリング×1、フィルター×1、 フィンパーツ×4、ケースOリング×1 |

*1 吐出量は使用するドリルの能力、回転数および液体の粘度、気温によって変わります。

*2 ドリル、ホース（ホースバンド等）は、本製品のセット内容に含まれていません。別途ご用意ください。

「交換用部品」



■ 使用方法

1. 適合するホースを、ポンプ本体の給水口、吐出口に接続します。

ホース（別売）は内径 19 ～ 20mmのものを使用してください。また、使用する液体に対応したホースを選択してください。
・ホース推奨長さ 給水側：3m以内 吐出側：15m以内 ・ポンプ本体の高さ：床から 2m以下
ホース抜け防止のため、ホース接続部にホースバンド（別売）を取り付けてください。

2. ポンプ本体の回転軸に、ドリルのチャックを接続します。

ドリルドライバーを使用してください。インパクトドライバー等の打撃工具はポンプが破損する恐れがあります。

3. 各ホースの給水、吐出先ををセットします。給水側ホースの吸い込み口は液体に浸してください。

ポンプ本体が不安定な場合は、固定金具を使用して板や柱等に固定して使用してください。

4. ドリルを正回転方向に回してポンプを作動させます。液体が給水側から吸い取り、吐出側から排出します。

給水を始める前に、ポンプをできるだけ液体の近くに配置してください。遠いと吸引できない場合があります。
勢いよく吐出します。ドリルの回転数を低速から徐々に加速してください。（推奨 2000 ～ 3000rpm）

■ メンテナンス

- ・ 水や溶剤を使用後保管する場合、内部が乾燥して次回使用時に固着やポンプ作動不良を起こし、液体がうまく移送されないことがあります。使用後もしくは次回使用前に吸入口もしくは吐出口よりオイル等を少量注入して内部を潤滑させてから使用してください。それでも改善しない場合は、分解して直接グリス等で給油してください。
- ・ 定期的に点検して、液漏れ・損傷・作動不良がある場合は使用を中断し、交換用部品等で修理してください。改善が見られない場合は、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

